

# 芦屋市案 狭小ロータリーや過大な空中通路で無駄・不便・危険

**A** **バス・タクシーロータリー 狭すぎてバスの運行に支障**

ロータリーとしてぎりぎりの回転半径・通路幅です。3分に1本のバス運行が予定されていますが、切り返しを頻繁にしなければならないようでは、機能が果たせません。

**B** **2F空中通路、無駄に高額 歩行者は地上を歩かず遠回り**

危険な東西道路の南側にバスやタクシー乗り場を移すため、2F空中通路の歩行で不便になります。高い工事費も問題です。階段①やエスカレーター①の登り口相互は50m以上離れる不親切さです。

**C** **南北道路、270本/日と3倍増 バスで団子状態、歩行者不安**

270本/日と3倍増のバスにより幅7mの狭い南北道路に大型バスが団子状に滞留します。茶屋之町付近から駅に向かう歩行者の安全性が心配されます。道路横断も不安です。



**D** **一般車ロータリー、狭すぎて 入れれば出られない危険性**

ロータリーの出口通路の幅員は4m程度で、大型のベントなどが駐停車すれば横をすり抜けるのは困難です。出られなくなる可能性大です。そのため一般送迎車両はこれまでどおり東西道路の南側に長い列で停車するでしょう。

**E** **東西道路、通過車両の速度が上がり歩行者には危険な道路利用**

東西道路の歩道との境界に横断禁止フェンスが設置され、道路から歩行者が閉め出されます。そのため通過車両は速度を上げて通過します。車道上の歩行時に重大事故の恐れが強まります。

**F** **駅増築部分、高工事費で、エスカレーターと階段の欠陥配置**

折れ曲がった無駄な通路のため工事費が市民提案より2億円弱増加します。またエスカレーター②と階段②の登り口も50m以上離れる不便さです。普通は登り口・降り口は並んでいるものです。ビルまでの歩行距離も100m程増加します。

# 市民提案 (BTA案) 合理的な計画で無駄なく利便性が高く安全

**A** **通過型バス停留所、これまでどおりの利便さ**

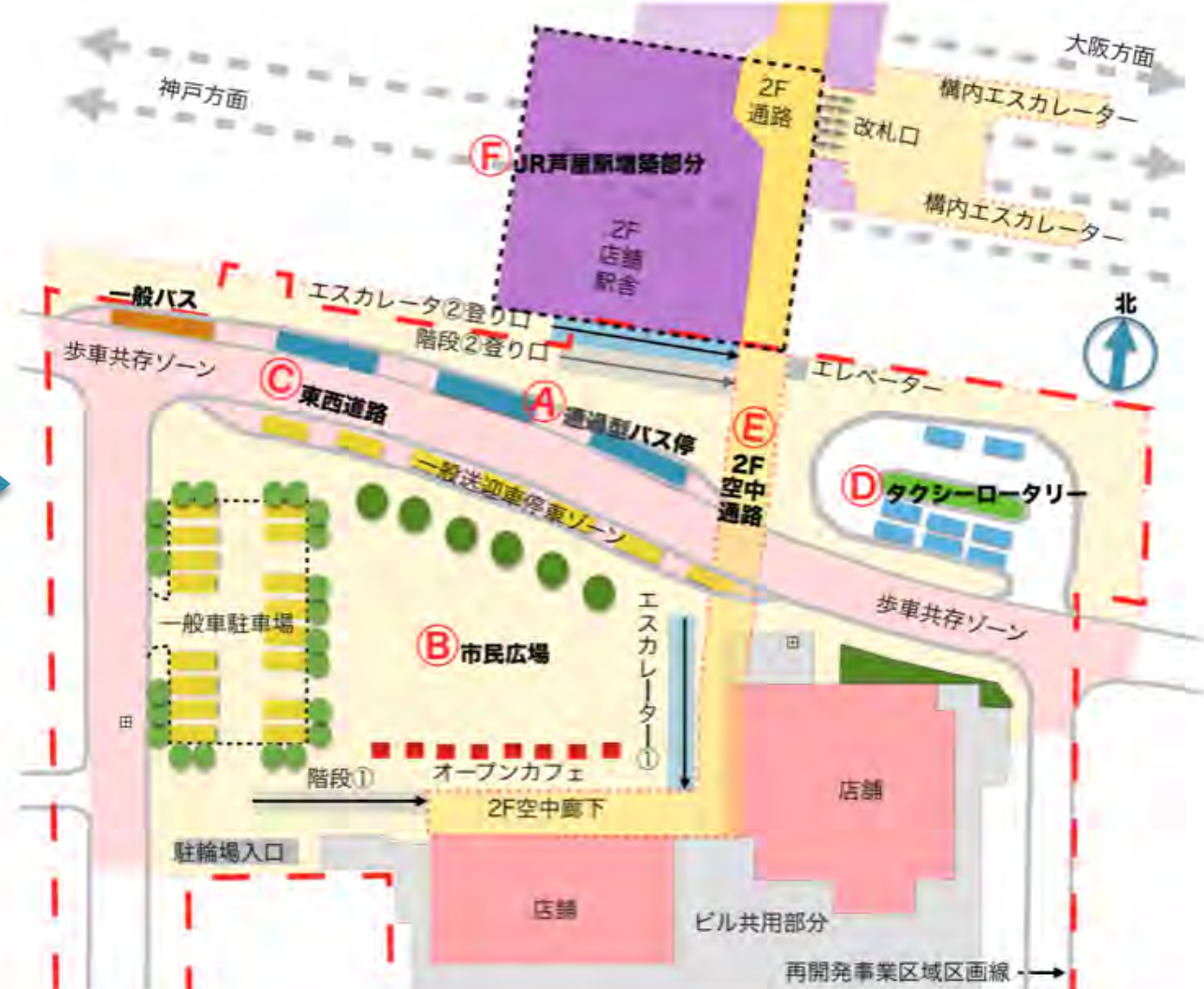
新しいバス停は、駅に接してとても便利で安全な、現在のバス停留所と同じ形式の、通過型バス停留所が望ましいですね。危険な道路横断の必要なく乗降客は安全・便利に利用できます。

**B** **市民広場、緑豊かで文化薫る ゆったりとしたくつろぎ**

使いにくく無駄なロータリーは無くし、街路樹と文化薫る美しい低層の商店建築に囲まれ、カフェなども楽しめます。平置き駐車場があり、送迎やチョットした買い物に便利です。

**C** **東西道路など、歩車共存の設 えて安全、送迎車渋滞も解消**

東西道路や南北道路には歩車共存ゾーンを設置します。構造や規制で車速を5km以下に制限すれば、現在と同じ安全な道路になります。渋滞解消のため東西道路南側に停車ゾーンを設けます。



**D** **タクシーロータリー、駅に接した便利な位置に**

タクシー乗り場はバス停留所と同じように駅に接した位置に設けることができます。エレベーターを降りれば、目の前にタクシー乗り場があります。高齢者や大きい荷物を運ぶ場合にはとても便利です。

**E** **2F空中通路、駅と再開発ビルを最短距離でつなぐ**

芦屋市案では2F通路・空中通路はグネグネと曲がり非効率的で不便なものです。これを改め最短距離で駅とビルをつなぎます。また駅へ上がる階段②とエスカレーター②は使いやすいよう同じ位置に設置します。

**F** **駅増築部分、無駄なくまとめ 通行の利便性向上と工事費低減**

市民提案は増築部分が真四角になるロスのない合理的な計画です。工事費が安く便利です。改札口から外は主に芦屋市民の負担になります。芦屋市案は無駄に大きく2億円弱の工事費の市民負担増になります。

「JR芦屋駅南再開発」市民の声を反映させる「まの方向」を築く